みやきた新聞
平成27年4月15日
4月号
発行：宮古北高等学校

厳かに入学式挙行

四月七日（火）、平成二七年度岩手県立宮古北高等学校入学式が本校体育館で行われました。

今年度の入学者は十八名。学級担任山崎満寿美先生の呼名に元気よく返事をし、佐藤有校長より入学を許可されました。

式辞の中で佐藤校長は、高校生活を充実したものにするため、一、生まれながらに持つ自分の能力の発見と錬磨、二、将来の社会生活に向け人間性を磨く…挨拶、感謝、奉仕の精神や謙虚な心など小学校から繰り返し教わったこと、三、先輩や同級生など人間関係を大事にし、友情を育むことの三つに期待すると話されました。

新入生代表宣誓は久保田海世君（田老一）。緊張の中にも、熱い決意を込めて、「夢や目標を持ち、切磋琢磨していく。地域貢献を考え、思いやりの気持ちと相応の行動力、判断力を大切にする。宮古北高校の伝統を受け継ぎ、支援してくださる方々への感謝を忘れず、一人の人間として自立できるよう一歩を踏み出す」ことを宣誓しました。

出席された十一名の御来賓の中からら、ＰＴＡ会長金子誠博様が、「飛行機の離陸には向かい風が必要。来るべき大空に羽ばたく日に向かって両手を大きく広げ、まっすぐに風を受け止めて欲しい」とこれからの高校生活にエールを送りました。

続いて、田老第一中学校長菅井雅之様より「充実した高校生活を送るためには願いや目標を持って欲しい。諦めない。投げ出さない。逃げ出さない。チャンスを逃がさない。進んで行動する。一日一日を大切にする。周囲の人との良い関わりを持って欲しい」と激励のことばを頂戴しました。

吹奏楽部の伴奏と在校生・職員により校歌が紹介され、入学式を終えました。

保護者の方々は、その後ＰＴＡ・教育振興会入会式へ移動。学校から教務、生徒指導について説明があり、続いて一学年のＰＴＡ役員の選出を行いました。保護者の皆さまの協力もありスムーズに役員が決まりました。

多くの方々に支えられ新しい高校生活がスタートしました。また、学校としても、平成二七年度全校生徒四十九名の宮古北高校が動き出しました。全校挙げて、旧例にとらわれずに、新しい知恵、アイディアを出し合い宮北を盛り上げていきましょう。

頑張れ新入生！
頑張れ宮北！

『みやきた新聞』は、地域の方々に宮古北高等学校をもっと知っていただくために発行している情報発信紙です。勉強や様々な行事でイキイキと頑張っている生徒の姿をご覧ください。

対面式・部紹介

四月八日(水)、生徒会主催の最初の行事である対面式と部紹介が実施されました。

例年は、最初に、新入生が、一人ずつステージに上がり、二・三年生の先輩方に向かって大きな声で自己紹介と高校生活の意気込みを伝えるもの。今年度は、まず生徒会執行部と応援団幹部が自己紹介し、昨年度の三年生が作成した学校紹介ＤＶＤを全員で鑑賞し、続いて新入生が決意表明をすることとしました。ＤＶＤで学校の様子が少し分かって気持ちが落ち着いたせいか、決意表明の声も前日の入学式同様体育館中に響く堂々とした新入生の声。中には声が小さく応援団長からだめ出しをもらい二度、三度と繰り返す場面もありましたが、全員元気よく先輩方に挨拶ができました。団長のＯＫが出ると応援団員から「頑張れ～」の激励の声がかかります。新入生には少々辛い場面かも知れませんが、これも一つの良い経験でありましょう。

続いて校長先生のあいさつ、応援団長皆川拓紀君をリーダに在校生から新入生へ歓迎エールや校歌が送られました。これを受けて、新入生を代表して、土井歩美さん(田老一)がこれからの高校生活への決意を語りました。

対面式に引き続き、部紹介が行われました。今年は運動部から女子バレーボール部、フットサル部、文化部から茶華道部、写真部、芸術部、吹奏楽部が紹介を行いました。

新入生オリエンテーション

四月八日(水)から十三日(月)までの四日間、一学年校内研修が実施されました。これは、新入生に早く慣れてもらい、さらに新しい仲間作りをするものです。

各課からのガイダンス、中学校のジャージを着てのグループワークトレーニング、クラス役員や係決め、そして、放課後の部活動見学。新入生にとっては息つく暇もないことでしょう。しかし、このように短期集中して何かを注入する、そういう時間は若いうちには必要です。この数日であっという間に北高生ができあがりました。

部紹介の様子

職員紹介

本年度の転入職員を紹介します。

校　長　佐藤有　（盛岡第一高）
教　諭　山崎満寿美（水沢商業高）
教　諭　佐藤正治（水沢農業高）
常勤講師　高谷達人（大野高）
常勤講師　髙山格（釜石商工高）
常勤講師　藤原大貴（新卒）
養護助教　阿部佑紀（新卒）
主　査　佐藤由美子（一関工業高）

よろしくお願いいたします。

立野愛美　武藤秀郷　廣瀬謙三　山田英之　藤原大貴　高谷達人　髙山格　古屋伸子　加藤美智子
佐藤由美子　阿部佑紀　山崎満寿美　松場喜美夫　佐藤有　佐藤達夫　勝又靖　山口晋也　佐藤正治

四月の主な予定

十三日(月)～十七日(金)　応援指導
十五日(水)　心臓検診①
十六日(木)　1・2年基礎力確認調査
　　3年進路マップ・就職模試
十七日(金)　貧血検査、進路希望調査
　　3年進路ガイダンス
二十日(月)　自転車点検
二十三日(木)　**PTA役員会①(本校)**
　　耳鼻科検診
二十四日(金)　尿検査①

平成２７年度　職員分掌一覧　　◎：主任　○：副主任

No	職名	氏　名	教　科	学年	分掌	部活動
1	校長	佐藤（さとう）　有（ゆう）	理科（生物）			
2	副校長	松場（まつば）　喜美夫（きみお）	地歴公民（世界史）			
3	教諭	勝又（かつまた）　靖（やすし）	保健体育	○１副	◎生徒指導	総合運動部
4	教諭	廣瀬（ひろせ）　謙三（けんぞう）	数学	３付	◎進路指導	総合運動部
5	教諭	山口（やまぐち）　晋也（しんや）	英語	◎１付	◎教務	総合運動部
6	教諭	山田（やまだ）　英之（ひでゆき）	地歴公民（地理・現社） 情報	◎３副	◎総務	総合運動部
7	教諭	武藤（ぶとう）　秀郷（ひでさと）	英語	○２正	○総務 ◎ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ	総合文化部
8	教諭	立野（たつの）　愛美（まなみ）	国語	◎２副	◎図書視聴覚 ◎教育相談	総合文化部
9	教諭	加藤（かとう）　美智子（みちこ）	数学	○３正	○教務	総合運動部
10	教諭	山崎（やまざき）　満寿美（ますみ）	商業	１正	◎保健厚生（総務）	総合文化部
11	教諭（再任用）	佐藤（さとう）　正治（まさはる）	数学	１付	○進路指導 ○教育相談	総合文化部
12	講師	高谷（たかや）　達人（たつひと）	理科（科学と人間生活・生物・化学）、情報	２付	○生徒指導（進路指導）	総合文化部
13	講師	高山（たかやま）　格（かく）	国語	３付	教務 図書視聴覚	総合文化部
14	講師	藤原（ふじわら）　大貴（だいき）	保健体育	２付	生徒指導	総合運動部
15	養護助教諭	阿部（あべ）　佑紀（ゆうき）		１付	○保健厚生	総合文化部
16	非常勤講師	熊谷（くまがい）　英範（ひでのり）	地歴公民（日本史）			
17	非常勤講師	佐々木（ささき）　良恵（よしえ）	芸術（音楽）			
18	非常勤講師	中山（なかやま）　雅志（まさし）	芸術（書道）			
19	非常勤講師	相馬（そうま）　慧子（さとこ）	家庭			
20	事務長	佐藤（さとう）　達夫（たつお）				
21	主査	佐藤（さとう）　由美子（ゆみこ）				
22	ボイラー技士 兼学校技術員	松本（まつもと）　紘樹（こうき）				
23	特別支援教育 支援員	古屋（ふるや）　伸子（のぶこ）				
24	期限付 臨時職員	山崎（やまざき）　望（のぞみ）				

この新聞の記事以外の、宮古北高校に関する情報については公式サイトをご覧ください。
アドレスは以下の通りです。

◎岩手県立宮古北高等学校　公式サイト
アドレス http://www2.iwate-ed.jp/myn-h/index.html

応援指導始まる

年度始め恒例の応援指導が、新入生には十三日から行われています。渡されて間もない歌詞とＣＤを使い新入生も一生懸命。覚えてきたつもりでも、節回しや独特の読み方などまごつくこと多々あり。間違えると、先輩応援委員から「もう一回！」「返事！」と指示が飛びます。

新入生は、ただでさえ慣れない高校での生活に加え、昼ご飯を短時間で胃袋に詰め込み、先輩に怒鳴られないように頑張って覚えるという大変な日々が続いていると思います。声もかれてきている人もいるでしょう。しかし、この一週間をやり切った時、高校での一体感が生まれます。大きな声で校歌や応援歌を先輩と一緒に歌うということは、これからの人間関係づくりに大いに役立つことでしょう。

保護者の皆さまも、お子様の成長をじっくりと見守っていただきたいと思います。

【能率手帳ガイダンス】

今年度、全学年で能率手帳を使って、日々のスケジュール管理や目標設定、セルフチェックを行っています。